血液透析をはじめとした、 腎疾患を患う方への災害対策

透析看護認定看護師前田奈緒美

透析および腎疾患を患う方とは

腎疾患を患うCKD患者さんは近年増加の一途をたどっており、 特に高齢者に多い傾向があります。

その為対応する方が、腎機能が低下している患者さんではないか把握しておく必要があります。

例えば

透析をしている 透析を近々しなければならない 飲んではいけない薬がある 等



※災害により日常生活を送る事が出来ない事で、腎機能が急速に悪化し、生命の危機に陥る場合があります。

もし、避難生活をおくることになったら

腎臓が悪いことを周りへ伝える必要があります。

腎臓の機能が低下している事により、 様々な症状があり、また高血圧や 貧血、心機能の低下などの基礎疾患 を持つ事が多く、それに対する対応 が必要となります。



周りの人へ伝える事が出来るよう患者さんや家族 へ、日頃から説明しておくようにしましょう。 大災害が発生し、どんなに社会が混乱していても、透析患者さんには透析治療が必要です。

腎機能が廃絶した透析患者さんは、透析治療をしないと、生命を脅かされる事態となってしまいます。



しかし、大災害が起きたことにより、通常の施設で通常のスケジュールで透析を行う事が難しくなります。

その様な事態が起きた時はどうしたらよいのでしょう?

血液透析を行う必要がある患者さん

! 自分の透析施設と連絡を取りましょう



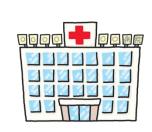
連絡手段は

電話? メール? 災害用伝言ダイアル?

災害直後は医療施設は混乱が生じています。 平時から、連絡手段を施設に確認しておく必要 があります。

血液透析を行う必要がある患者さん

• 自分の透析施設と連絡を取りましょう



※通常通りの

スケジュールで来院しても良いの?

※利用している送迎手段は使用できるの?

透析が、問題なく行うことが出来るのかを確認する必要があります。



災害時透析患者支援マニュアル

(透析施設関連情報収集伝達マニュアル)

令和元年6月改定版

健康医療局保健医療部がん・疾病対策課

透析を普段通りに受ける事が出来るようになる迄は

- 透析を受けることが出来る施設を捜す
- 食事や<u>水分</u>に気を付ける
- <u>服薬</u>をきちんと継続する



透析を受けることが出来る施設を捜す

血液透析治療を行うには、 電力や大量の水が必要

災害が起こると、透析施設が稼働できなくなる可能性があります。

その際には<u>他の施設</u>で透析をおこなう事が必要になる場合があります。

透析を受けることが出来る施設を捜す

• 他の施設で透析を受ける時に必要な情報は

(1) 最近のドライウェイト

②飲んでいる薬の名前と用量

③感染症やアレルギーの有無

(1) 最近のドライウェイト

- ※普段着用している<u>衣服</u>はどんなものか 服が違うと、重さの違いにより体調不良を きたす可能性が大きくなります。
- ※1回の<u>透析時間</u>と、1回に可能な除水量 透析時間当たりに除水できる量は人により まちまちです。

②飲んでいる薬の名前と用量

※普段の透析中に飲んでいる薬がある場合は、飲んでいる薬の名前や量、飲んでいる時間、また透析を行う上で必要な処置等を伝えられるようにしておきましょう。

※普段から自分が透析中にどのような体調の変化が起こりやすいかを把握しておきましょう。(例えば、透析後半に血圧が下がる。透析後すぐに立ち上がると意識がぼんやりする。等・・)

(3)感染症やアレルギーの有無

全ての透析患者さんが安全に透析を行う上で必要な情報です。

緊急時に速やかに透析を行う事が出来るよう あらかじめ医療者へ伝えられるようにしておき ましょう。

災害時には、普段と異なる施設で透析情報と呼ばれている透析の方法を把握することが困難です。

受け入れる事ができる施設では、通常以上の多くの患者さんの対応をしなければならず、透析患者さんそれぞれのその人ごとの情報に沿った透析を行うためには、情報を患者さんや家族が自発的に伝える必要があります。

透析施設によっては、あらかじめ<u>災害時カード</u>を透析患者さんに渡して管理するよう指導されています。

災害時は、常に新しい情報である必要がある 為、日頃から持っているカードがどこにあるの か?情報が変わっていないのか、確認しておく 必要があります。

食事に気をつける

塩分やカリウムはいつもよりやや少なめにしましょう

避難生活になった時・・







避難所での食事に気を付ける必要があります

食事に気をつける

ごはんやパンなどの主食はしっかり食べましょう。



透析が十分にできない時に主食を抜くと・・



▶ 筋肉が分解され毒素が溜まる



▶ 体調を崩すことがあり危険!

服薬を継続する

- 血圧や心臓病の薬はいつも通りキチンと飲むようにしましょう
- 陰イオン交換樹脂は、過剰になりがちなカリウムを下げます。日頃から災害用として備蓄しておくようにしましょう。
- 糖尿病の薬などは食事が十分に取れない場合は中止する方が安全な場合があることを 知っておきましょう

- ・腎疾患を患う患者さんは、外見では判断できません。「自分の命は自分で守る」自助の意思と行動が必要ですが、高齢者等自分で行うことが困難な人には、周りの人の手助けが必要となります。
- ・災害で日常の生活を送ることできないと、体調を維持することが難しい患者さんとして理解し、普段から備える準備が必要です。